

家庭1		東京書籍 (2東書)
特に優れている点	① 大阪市 施策	<ul style="list-style-type: none"> ○【基礎】「いつも確かめよう」で基礎的・基本的な知識や技能のポイントが確かめられる。(P13 他) ○【言語】「1 見つめよう」「2 計画しよう・活動しよう」「3 生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の3つのステップで問題解決的な学習ができる。 ○【言語】「自由研究」「パンフレット作り」「トライカード」例があり、言語力や論理的思考能力を高められる。(P25, P43, P51 他) ○【伝統】伝統的な文化から学べる部分にマークを付け、日本の伝統を紹介している。
	② その他	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭生活と家族についての題材を5年のはじめ、6年のおわりに位置付け、家庭・家族について考えられる。 ○「Do! 活動」マークで実践的な活動のポイントを示し、生活に生かせる。 ○書き込み式のワークシートがあり、学習時に活用できる。(P31, P40, P41 他) ○「安全」マークがあり、危険防止を図ることができる。
	③ 外的 要素	<ul style="list-style-type: none"> ○「いつも確かめよう」ではミシンや包丁の写真が大きく見やすい。(P114~P123)
	④ 構成 配列	<ul style="list-style-type: none"> ○巻頭の折り込みに「成長の記録」巻末の折り込みに「これからの私たち」を配置し2年間の見通しとふり返りができる。
	⑤ 資料	<ul style="list-style-type: none"> ○資料は正確なものが用いられている。
特に工夫・配慮を要する点	① 大阪市 施策	<ul style="list-style-type: none"> ○環境についての基礎的な記述が少ない。(P50, P51 本文)
	② その他	<ul style="list-style-type: none"> ○安全マークはあるものの実習の場面でポイントを押さえられていない。 ○注意事項、補足説明等に細やかな視点、配慮がない。(P10 他)
	③ 外的 要素	<ul style="list-style-type: none"> ○色合いが全体的に鮮やかでない。 ○紙が薄い。
	④ 構成 配列	<ul style="list-style-type: none"> ○衣食住、消費・環境の配列について、学年にかたよりが見られる。2学年にわたり衣食住、消費・環境の学習配列のバランスがとれていない。
	⑤ 資料	<ul style="list-style-type: none"> ○補足的資料のコラムが本文よりも強調されており、読みづらい。 ○実習の場面でイラストが多用されているが、児童の学習活動に活用しにくい。 ○基礎的・基本的な技能を身に付ける場面で手順がわかりにくい。

家庭 2	開隆堂出版株式会社 (9開隆堂)
-------------	-------------------------

特に優れている点	① 大阪市 施策	<ul style="list-style-type: none"> ○【基礎】 5年ではスモールステップで基礎的・基本的知識及び技能を身に付け、6年では基礎・基本をもとに応用しながら、生活に生かすことができる。(P8,P9「湯のわかしかた」 他) ○【基礎】 单元ごとに「できたかな」「ふり返ろう・生かそう」を活用し、基礎的・基本的な知識や技能が習得できる。(P12,P13,P17 他) ○【言語】 「話し合おう」「調べよう」「考えよう」など課題を投げかけ、問題解決的な学習で言葉や図表などを用いて話し合ったり、発表したりする活動を促しており、言語力や論理的思考力を育める。(P15,P18 他) ○【環境】 消費・環境についての学習が、生活の具体的な場面で実践できるよう工夫されており、環境を守る意識が醸成される。(P28「物を生かして使うくふう」)
	② その他	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭生活や家族についての視点を、衣食住や消費・環境の学習のなかに取り入れ、学期や学年の区切りには家庭生活と家族についての題材を配列しており、全体を通して家庭・家族を意識し考えるよう構成されている。 ○学期の終わりに「チャレンジコーナー」があり、家庭での実践を促している。(P33,P50 他) ○大切な言葉を太字で示したり、生活の中で使われる言葉を「一口メモ」で解説したり、巻末に用語一覧をつけたりして学校行事や季節感を考慮し、題材の中で理解できる。(P113 他) ○安全衛生についての留意点がそれぞれの実習の場面で適切に示され、また、巻頭の見開きを活用して常に確認ができる。(P3)
	③ 外的 要素	<ul style="list-style-type: none"> ○紙に厚みがあり、調理実習時の使用に適している。 ○文字の太さ、大きさが適切である。 ○写真・さし絵ともに鮮明であり、色使いにも配慮がなされている。
	④ 構成 配列	<ul style="list-style-type: none"> ○題材の構成・配列にストーリー性があり、内容の関連を図りながら学習できる。 ○時期や季節を考えた題材構成で2学年にわたって段階的にスパイラルで学習できるよう配列されている。 ○見開きに2年間の学習の流れが明記されていて、見通しをもって取り組める。(P1,2)
	⑤ 資料	<ul style="list-style-type: none"> ○資料は正確で新しい。 ○実験結果を示す資料は読み取りやすいものが使われており、学習内容に応じた適切な資料である。 ○実習に関する写真等の資料が工夫されており、わかりやすい。作品例や児童の表情等の写真があり学習意欲を引き出せる。(P23,P88 他) ○色分けされたインデックスにより、誰もが使いやすいよう工夫されている。A B C Dの4つの内容が色によって示され、わかりやすい。

特に工夫・配慮を要する点	① 大阪市 施策	
	② その他	○実習のページにたくさんの情報が盛り込まれ、一つ一つのスペースが小さい。
	③ 外的 要素	○写真やイラストが小さい。
	④ 構成 配列	○「成長したわたしたち」というまとめが最後の見開きになっていて見にくい。
	⑤ 資料	○発展的な資料、巻末資料が少ない。